



オンライン開催

大学発シーズ
マッチングセミナー

第29回

"見える化"技術が支える
次世代ライフサイエンス

～ 生体信号・抗体安定性・RNA解析の新アプローチ ～

株式会社TLO京都は、大学や公的研究機関で生まれた研究成果を企業における事業化を目的とする技術移転をサポートいたします。

この度、大学から創出された研究成果を、定期的に企業の皆様にご紹介するセミナーを開催いたします。第29回となる今回のテーマは【"見える化"技術が支える次世代ライフサイエンス ～ 生体信号・抗体安定性・RNA解析の新アプローチ ～】です。

大学の最新技術や産学連携に興味のある方、自社の技術力向上や新規事業の立ち上げに関心をお持ちの企業様は、ぜひご参加ください。ご興味ある技術は、別途個別面談を設定することも可能です。

プログラム

各講演時間は、技術紹介／質疑応答時間を含めた目安ですので、予定時刻は前後する可能性があります。

13:30～14:00 頃 睡眠障害要因の在宅モニタリングに向けた筋活性区間自動検出システム

京都大学大学院 情報学研究科 情報学専攻人間機械共生系講座 講師 江口 佳那

睡眠中に起こる不随意運動「周期性四肢運動 (PLMs)」によって睡眠の質が低下する周期性四肢運動障害について、本発明は、簡易な表面筋電図でPLMsを高感度に判別できるため、入院せず在宅でのモニタリングを可能にします。

14:00～14:30 頃 流動ストレスに対する抗体医薬品安定性の定量評価

京都大学大学院 農学研究科 応用生命科学専攻応用生化学講座 教授 菅瀬 謙治

せん断力を加えた状態でNMR測定を行う「Rheo-NMR」を用いることで、流動ストレスに対する抗体の安定性を評価する方法についてのご紹介です。

14:30～15:00 頃 Nearly Random Index (NRI)法が可能にする高スループット・低コストの網羅的トランスクリプトーム解析

京都大学 医学研究科 医学専攻基礎病態学講座病態生物医学
京都大学 高等研究院 ヒト生物学高等研究拠点 (ASHBi) 教授 村川 泰裕

RNA-seqやCAGE-seqの増幅誤差を大きく抑制する画期的なランダムプライマーです。多検体のRNA発現解析における処理効率と正確性を大きく向上させる技術です。

日時

2025年12月18日(木)13:30～15:00予定

参加費

無料

申込締切

2023年12月12日(金)

注意事項

オンラインセミナーは、Zoom (ウェブ会議室システム)を使用します。参加者はパソコンなどの端末、ネット環境が必要です。Zoomアプリは事前に最新版にアップデートしていただきますようお願いいたします。お申し込みが完了した方へは、別途参加登録情報をご案内いたします。

詳細は
コチラ

お問い合わせ

株式会社TLO京都 京大産学連携技術移転チーム

Mail event@tlo-kyoto.co.jp

https://www.tlo-kyoto.co.jp/event/